



発行
日本共産党
寝屋川議員団
072-824-1181
FAX:824-7760
No.3507

寝屋川市会議員
中林かずえ
宝町4-33
090-3944-8385

寝屋川市会議員
松尾信次
下木田町12-6
090-3056-9924

寝屋川市会議員
西田まさみ
石津中町30-3
090-9713-3588

前寝屋川市会議員
太田とおる
高柳2-49-2
080-3818-9722

訪問調査の控 本人に渡すべき

中林議員は、9月18日委員会にて介護認定期間について質問しました。

◇ ◇
本市の介護認定に係る期間が、法の30日を超えて2023年度平均41・4日が2024年度では45日もかかっています。

中林議員は、訪問調査員を6月から8月から9人に増やしたが、現状の認定状況からみて、調査員が不足なら、さらに増やすように求めました。

また、中林議員は、認定調査票の控えを高齢者本人に渡すことについて質問しました。本市は、調査票の控

えを本人に渡していませんが、枚方市、豊中市を含め府内5市が渡している、また、10市は本人から求められれば渡しています。

に、本人に渡した内容と違いができることがあるとのことでした。中林議員は、市民にとれば、控えによって包括支援でセンターなどが暫定ケアプランを立てやすくなるメリットがあることから、本人に渡すべきと主張しました。

介護認定に係る期間30日以内に 中林議員が委員会で求める



中林議員は、訪問調査

緊急対策 調査単価引上げ、加算金の支給

10月10日、市は「要介護認定期間短縮に向けた緊急対策」(2024年10月～12月)を公表しました。

②加算金の支給(1か月3万円～5万円)を行い、たまっている認定調査分の解消を図るとしています。

*詳しくは左票を参照ください。

要介護認定期間短縮の緊急対策 (2024年10月～12月)

1 概要
コロナ感染症での要介護認定の有効期間延長の終了により、申請件数が大幅に増えていることから解消を図るため緊急対策を実施する。

2 対策

(1) 更新調査に係る単価改正及び加算金の支給

ア 目的

- ・ 現受託者の調査件数増へのインセンティブ
- ・ 新規参入者の呼び込み
- ・ 調査単価を同一圏内(北河内)と同水準とし、他市との単価格差を解消

イ 内容

対策	条件
調査単価の改定 3,850円⇒4,400円 に引き上げ (550円増)	各居宅介護支援事業所又は個人委託調査員の1か月の調査件数が今年度(4月～9月)の1か月平均調査件数を超えた場合に、当該月の調査単価を4,400円とします。 (新規参入者は平均0とカウント)
加算金の支給 ・ 40～49件/月 3万円 ・ 50～59件/月 4万円 ・ 60件以上/月 5万円	各居宅介護支援事業所又は個人委託調査員の1か月の調査件数が40件を超える場合、加算金を支給します。

(2) 指定市町村事務受託法人の活用

新規調査への活用が認められている「指定市町村事務受託法人(大阪府が指定する法人)」に委託を行い、調査体制の強化を図ります。

(3) 要件緩和

ア ダブルワーク

これまで個人委託調査員の資格要件を専属(他の事業所等で勤務していないこと)としていましたが、これを撤廃しダブルワークを可能とします。
(ただし、事業所に勤務している場合は事業所の就業規則による)

イ 担当ケアマネジャーによる調査

これまで更新調査に当たっては担当ケアマネジャーによる認定調査を認めていませんでしたが、緊急対策期間に限り認めます。



認可外にもひとり親軽減を 中林議員が一般質問



9月議会一般質問で、中林議員は、シングルマザー世帯の保育園入園をとりあげました。

◇ ◇

5月に未婚出産したKさんは、自宅近くの認可保育園3園を申し込みましたが、自営業の点数にひとり親の0.5点を加点しても7.

5点にしかならず、認可保育園3園には入れない見込みです。

遠くの認可保育園なら入園できますが、移

認可外保育園も無償化の対象にすべき

★(問) ①ひとり親家庭に対しても認可保育園と同様の保育料軽減を行うこと ②第2子以降の無償化の対象に認可外保育園を加えることを求めます。

●(答) 認可外保育施設のひとり親家庭の保育料の軽減は、認可

が利用調整を行っておらず、施設が保育料を決定していることに加え、ひとり親に限らず様々な困難を抱えた利用者があるため軽減策の実施は困難である。

第2子以降の保育料

無償化については、認可外保育施設を含めることについての意見があるが、実施自治体は府内で1市のみであり、様々な施策の優先順位を踏まえ、全庁的に検討していく。

自営のシングルマザー世帯 認可園に入りにくい

空き状況の見える化・年3回選考

市 保育所入所調整方法見直し

9月24日、寝屋川市は、保育園の入所調整方法の見直し「2025年4月以降の保育所等の利用調整方法について」を公表しました。

以下、その内容です。

①申請手続きのオンライン化

②保育園の空き状況の見える化 各保育園のクラス年齢ごとの受け入れ可能人数と昨年度の申し込み状況などをホームページで公開。

③選考過程の見える化 入所選考を年3回にわけて実施するとともに、

選考スケジュール日程を事前に公開する。

2025年4月入所分

- 第一次選考受付(10月15日～11月15日)
- 第二次選考受付(12月16日～12月27日)
- 第三次選考受付(1月20日～2月8日)

入所調整指数(点数)の見直しも



利用調整基準表の見直しは以下の通りです。

◇ ◇

①通勤時間の指数(点数)化 定時間以上に加点する。

②保護者全員の指数(点数)で判定 保護者全員(父と母の生活状

況で指数化する。

③自営業就労者の明確化 自営業は形態が複数あることから、自営業者を細分化し、就業状況に応じた指数に見直しをする。

*詳しくは市ホームページを「ご覧ください」。

議員日誌



中林 かずえ

10月14日木屋元町の畑の「さつまいも」収穫体験会(1株500円)に寄せていただきました。

ここは、寝屋川市内に2か所しかない「第一種農地」(10ヘクタール以上の農地)のひとつです。

私が育った徳島では、さつまいもとは、1年中のつきあいでした。

やつでした。大阪にきてからも干し芋は好物です。木屋元町の広い畑の中にいると、なつかしくもあり、この日持ち帰ったさつまいもは、レンジでチンして「ほくほく」をいただきました。

この農地が値打ちです。

